

愛知県福祉サービス第三者評価事業 評価結果

①第三者評価機関名

一般社団法人 愛知県社会福祉士会 福祉・介護情報調査センター

②施設・事業所情報

名称：けいわk i d d y	種別：企業主導型保育施設	
代表者氏名：伊東慶	定員（利用人数）： 12 名	
所在地：名古屋市港区港栄4丁目4-12		
TEL：080-9709-2981		
ホームページ：http://keiwa-kiddy.jp/kiddy		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2016年 4月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 学校法人 慶和学園		
職員数	常勤職員： 5 名	非常勤職員 5 名
専門職員	施設長 1名	保育士 3 名
	保育士 3名	子育て支援員 2 名
	事務員 1名	
施設・設備の概要	（居室数）	調理室 1
	保育室 1	相談室
	事務室	休憩室

③理念・基本方針

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの笑顔を大切に、家族の方も先生たちもみんなが笑顔で過ごせるように保育を行います。 ・子どもたちの心を大切に、心に寄り添い、愛情あふれる環境で、安心して過ごせるように保育を行います。 ・子どもたちの身体を大切に、みんなと仲良く、元気いっぱい、安全に過ごせるように保育を行います。
--

④施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ・慶和幼稚園で先生を経験した保育士がKiddyを担当します。幼稚園で身につけた知識・スキルを活かし、乳児の保育を充実していきます。 ・慶和幼稚園での生活習慣・学習内容を基にKiddyの教育を行います。けいわKiddyから慶和幼稚園への乳幼児一貫教育を行います。地震等の災害に備え最新の基準で設計を行い、津波を想定し保育室を3階に設置。被災後への配慮として太陽光発電を設置しています。
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 4年 8月 9日（契約日）～ 令和 5年 5月 31日（評価決定日） 【令和 4年 11月 17日(訪問調査日)】
受審回数 （前回の受審時期）	0 回

◇特に評価の高い点

- ・限られた面積の中で、創意工夫をして子どもたちの保育に必要な設備を備えている点が高く評価できる。
- ・少人数の企業主導型保育園であるが、隣接している幼稚園や同じ建物にある地域子育て支援拠点と交流を行っている。
- ・地震に備え耐震性高い建物となっているとともに津波対策として屋上4階にあがることができ、避難後の雨対策も設置されており、安全性が確保されている点も評価できる。防犯対策としてエントランスはオートロックとなっており、多角的な対策が取られている点が評価できる。

◇改善を求められる点

- ・組織的に対応を検討された話し合いの場や、会議等の議事録等の内容について、後からどのような内容の議論があったのか確認ができるよう、項目だけでなく話し合った具体的な内容の記録を残す取り組みを期待する。
- ・地域住民や利用を検討している保護者等に対する情報公開は、ホームページ等における情報公開等、更なる充実を検討されたい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の結果を受け、改善点を教職員全員で話し合い、改善し、より良い保育を提供していきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目（65項目）について、判断基準（a・b・cの三段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

【共通評価基準】

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	保1	a ・ (b) ・ c
<コメント> 理念、基本方針は分かりやすい言葉で明文化されており、入園時に配布する資料に掲載されている。ホームページに理念、基本方針を掲載し、利用を検討されている保護者や地域住民等に広報する仕組みを整備されることを期待する。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	保2	a ・ (b) ・ c
<コメント> 理事長が法人全体の事業環境を取り巻く環境と経営状況の把握および分析を実施されており、経営状況および分析内容は理事長から資料が職員および保護者等に配布されている。事業所単位での経営状況の把握・分析、利用率等の分析の実施を期待する。		
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	保3	a ・ (b) ・ c
<コメント> 財務状況や事業の運営状況は法人の理事長が把握・分析されており、職員に改善すべき課題をわかりやすくまとめられた資料を配布している。設備の整備や職員体制、保育の内容等の経営課題について、改善に向けた取り組みに職員の意見を取り入れる仕組みの導入を期待する。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	保4	a ・ b ・ (c)
<コメント> 法人の理事長が作成している「学校法人慶和学園スローガン」に実質的な中・長期的なビジョンは示されているが、具体的な計画の策定はされておらず、ビジョンを実現するための中・長期の収支計画の作成も確認できなかった。ビジョンに基づいて具体的な中長期計画および中長期の収支計画を策定を期待する。		
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	保5	a ・ b ・ (c)
<コメント> 中・長期計画を策定し、中・長期の計画を実現することができる単年度の事業計画を組織的に策定されることを期待する。		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	保6	a ・ (b) ・ c
<コメント> 事業計画は全体会で職員に周知されており、事業計画に対する意見交換を行っている。事業計画の策定に職員や保護者等の意見を取り込めるよう手順を定め、あらかじめ定めた時期に組織的に事業計画の実施状況の評価および見直しをおこなう取組みを検討されたい。		
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	保7	a ・ (b) ・ c
<コメント> 事業計画の主な内容は、保護者等にメールで送付されている。保護者等にわかりやすいよう説明を行うなど、周知・説明の工夫を期待する。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	保8	a ・ (b) ・ c
<コメント> 月に1回開催している全職員の会議で、保育の質の向上に向けた取組みを検討している。会議の記録は項目だけが記載されており、具体的に議論をされた内容が確認できなかった。自己評価や第三者評価の結果を職員会議で分析・検討し、議論した内容が後から確認できるような議事録を作成されたい。		
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	保9	a ・ b ・ (c)
<コメント> 自己評価を行われていないため、評価結果の分析に基づく改善策の検討および改善策の実施も行われていない。今回、はじめて第三者評価を受審したため、受審結果を職員も参加し、分析を行った上で評価結果から明確になった課題について、改善策や改善計画を策定する仕組みの導入を期待する。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	保10	a ・ (b) ・ c
<コメント> 施設長は役割と責任を口頭で職員に説明している。施設長の役割と責任を含む職務分掌を文書化し、周知を図る取組みを期待する。		
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	保11	a ・ (b) ・ c
<コメント> 施設長は遵守すべき法令等について研修を受講し、職員会議で職員に伝達している。職員会議の議事録は項目のみ記載されており、伝達した内容が確認できなかったため、どのような内容を伝達したか確認ができなかった。内容が確認できるような記録の改善を期待する。		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。				
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	保12	a	ⓑ	c
<コメント> 施設長は職員会議で保育の質の向上に向けた話し合いを行っている。保育の質の向上に向けた現状について定期的、継続的な評価・分析の実施は実施されていないため、改善を期待する。				
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	保13	a	ⓑ	c
<コメント> 園児数が減少し、収入が減った時には支出を減らすため、情報通信技術（ICT）の活用を図り紙の使用量を減らすように努め、光熱水費の削減については職員に無駄に使用しないよう周知し、使用量の削減を実現できた。経営の改善や実効性の向上に向けて、人事・労務、財政等を総合的に分析する取組みを実施されたい。				

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

第三者評価結果				
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。				
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	保14	a	ⓑ	c
<コメント> 人材の確保・定着に向けた取組みは実施されているが、具体的な計画が策定されていない。必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方や、人材確保と育成に関する方針を含めた具体的な計画を策定し、計画に則って取組を進めることを期待する。				
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	保15	a	ⓑ	c
<コメント> 処遇については賃金規定に基づき、等級を理事長が決定している。職員のキャリアパスを明確にし、期待する職員像を明確に示す取組みを検討されたい。				
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。				
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	保16	a	ⓑ	c
<コメント> 職員が有給休暇を取得しやすくするため、人員配置を工夫し、有給休暇は柔軟に時間単位で取得できる仕組みを整備しており、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮している。職員の就業状況や意向は施設長が把握しているが、把握している内容は記録が残されていないため、把握している内容と対応の記録等を文書として残す取組みを期待する。				
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。				
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	保17	a	ⓑ	c
<コメント> 学期ごとに「個人成長シート」を使用して施設長が一人ひとりの職員と面談し、目標管理の進捗状況の確認を行っている。期待する職員像は口頭で伝えられているが、文書化はなされていない。職員が確認しやすいよう、文書化を検討されたい。				
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	保18	a	b	ⓒ
<コメント> 職員の教育・研修は適宜実施されているが、基本方針や計画の策定は無い。期待する職員像を明示して教育・研修に関する基本方針を定め、研修計画を策定されたい。				

II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	保19	a ・ (b) ・ c
<コメント> 職員の研修受講、OJTは実施されているが、研修成果の評価・分析は行われていない。研修等の成果の評価および分析を行ったうえで、研修計画に反映する取組みの導入を期待する。		

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	保20	a ・ b ・ (c)
<コメント> 実習を受入れていない。実習等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルを整備し、実習生等の受入れができるよう体制整備を期待する。		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	保21	a ・ b ・ (c)
<コメント> 予算・決算の情報が公開されておらず、苦情・相談体制や内容も公表されていない。ホームページ等を活用し、情報公開を推進されたい。		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	保22	a ・ (b) ・ c
<コメント> 法人において会計士による監査を受けている。適正な経営・運営のために、職務分掌と権限・責任を明確に定めて周知する取組みを実施されたい。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	保23	a ・ (b) ・ c
<コメント> 地域の行事に参加している。活用できる地域の社会資源の情報を収集し、掲示板等で保護者に提供し、一人ひとりの子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源の利用を推奨する取組みを充実させるよう期待する。		
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	保24	a ・ b ・ (c)
<コメント> ボランティアの受入れを行っていない。ボランティアの受入れについてマニュアルを策定した上で、受入れを検討されたい。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	保25	a ・ (b) ・ c
<コメント> 保健センターや児童相談所等の関係機関等との連携は主に施設長が行っている。社会資源に関する情報を職員間で共有する取組みと、社会資源を明示したリストや資料の作成を期待する。		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	保26	a	・ (b) ・ c
<コメント> 地域の福祉ニーズ等の把握は主に法人で行われている。地域の連携会議に出席している。地域住民に対する相談事業などを実施し、多様な相談に対応する中で地域の福祉ニーズを把握する取組みの実施も検討されたい。			
Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	保27	a	・ (b) ・ c
<コメント> 把握した地域の福祉ニーズ等に基づき、独自に具体的な事業・活動を計画で明示した上で、実施する取組みを期待する。			

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

			第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	保28	a	・ (b) ・ c
<コメント> 就業規則の中に職員の遵守事項として、子どもを尊重した保育の実施を位置づけている。子どもの人権、文化の違い、互いを尊重する心についての方針等を保護者等に示し、保護者等に対しても理解を図る取組みを期待する。			
Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	保29	a	・ (b) ・ c
<コメント> 子どものプライバシーを保護する保育の実施は行われているが、マニュアルの策定およびマニュアルに基づく研修の実施は確認できなかった。対応を検討されたい。			
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	保30	a	・ (b) ・ c
<コメント> 見学者にリーフレットを配布している。ホームページは他の事業と合同で設置されており、構成は改善の余地がある。利用希望者に対する情報提供について、保護者等の意見も聴取し、情報提供の方法や内容を適宜見直す取組みを期待する。			
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	保31	a	・ (b) ・ c
<コメント> 保育の開始にあたって、保護者等にわかりやすく説明する取組みは、特に配慮が必要な保護者への説明をルール化し、適正な説明を実施できるよう対応を検討されたい。			
Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	保32	a	・ (b) ・ c
<コメント> 保育の継続性に配慮した引継ぎは実施されているが、利用を終了した後も子どもや保護者等が相談できる体制を整え、書面で伝える取組みを期待する。			

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	保33	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>日々の保育の中で、子どもの様子を丁寧に観察し、子どもの満足把握をよう努めている。利用者満足に関する調査の実施担当者等の設置や調査によって把握した結果を分析・検討する取組みの導入を期待する。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	保34	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>苦情解決の体制が整備されており、重要事項説明書に苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員が記載されており、文書で配布している。苦情の申出にいたる前の要望や意見に対して主任、園長が組織的に対応している。保護者等に配慮した上で保護者にわかりやすいフィードバックの仕方の工夫を期待する。</p>		
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	保35	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>利用者アンケートの結果から、必要があれば個別相談等を行っている事がわかる。また、保育の実施状況に合わせながら、保護者が意見や相談をしやすい場所の確保ができるように、工夫されている。意見箱の設置はされていないため、設置を期待する。</p>		
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	保36	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>送迎時の職員との対話、保護者アプリ等に寄せられる要望・ご意見に対し、職員、主任保育士、施設長が連携し組織的に対応している。相談や意見の対応マニュアルの整備、対応マニュアルの定期的な見直しの実施を検討されたい。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な保育の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	保37	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>けいわKiddy運営規程により事故防止・事故対応マニュアルが作成され、委員会の設置、職員研修が行われている。外部からの侵入者への対応として不審者対応訓練を年2回行っている。ヒヤリハット報告・事故報告集が収集され分析・改善策検討等が職員の参加のもとで実施される事を期待する。</p>		
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	保38	(a) ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」に則り「感染症マニュアル」、「危機管理マニュアル」が作成され予防・発生時の対応、管理体制の整備され、勉強会にて職員に周知され見直しもされている。利用者アンケートの結果から感染症が発生した際には必要に応じて状況が保護者等に連絡がされている事がわかる。</p>		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	保39	(a) ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>海や川が近い立地条件から、津波を想定して建物が設計されており、保育室を3階に設置し太陽光発電も設置されている。消防署等と連携し避難訓練を行うとともに防災計画を整備している。管理者を決めてアレルギー対応にも配慮した備蓄を整備している。保護者への緊急連絡方法も周知され、アプリも活用されている。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果	
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	保40	a	・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>けいわKiddy運営規程により実施方法が文書化されたマニュアル等が作成され、職員がいつでも閲覧できる場所に設置されている。週間指導計画書等の評価・反省欄等で標準的な実施方法で保育が実施されているか確認されている。標準的な実施方法にそぐわない保育が提供された場合の対応方法についての検討されることを期待する。</p>			
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保41	a	・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>全職員のもと保育の標準的な実施方法の見直しが検討されており、職員の提案が反映されている。保護者等からの意見等も反映される仕組み作りを検討されたい。</p>			
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	保42	a	・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>入園時に面接を行い個別票を基に子ども・保護者の状況を把握し、ニーズを把握し、個別の指導計画に反映している。必要に応じて計画の作成に、保育所以外の関係者の参加も望まれる。</p>			
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	保43	a	・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>施設長のもとで主任が保育計画の統括を行い、関係者職員で週間計画、月間計画等を見直している。緊急に変更する場合の仕組みの検討を期待する。</p>			
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	保44	a	・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>企業主導型保育園専用ICTシステムによって記録の記入、保存、共有が行われている。記録内容や書き方に差異が生じないように記録要領の作成が望まれる。</p>			
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	保45	a	・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>企業主導型保育園専用ICTシステムによって記録され保存され共有されてており、個人情報の漏えいが起こらないよう記録の管理を実施している。</p>			

【内容評価基準】

A-1 保育内容

		第三者評価結果		
A-1-(1) 保育の全体的な計画の作成				
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育の全体的な計画を作成している。	保46	a	ⓑ	c
<コメント> けいわKiddy運営規程、保育所保育指針に基づいて全体的な計画を作成されている。施設長のもと主任保育が保育計画の統括を行い関係者職員で作成している。定期的な評価を行い次の計画に生かして事が分かる記録を作成されることを期待する。				
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開				
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	保47	ⓐ	b	c
<コメント> 床はコルク材を利用し床暖房を備えており、採光にも工夫があり、子どもがくつろげる環境を整えている。扉、窓は指挟み防止が設置されており、ケガを防ぐ工夫がある。食事、睡眠、排泄の空間が心地よいものとなるようにコロナ禍も考慮し一定の空間が確保できるよう配慮されており、高く評価できる。				
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	保48	a	ⓑ	c
<コメント> 保育士は笑顔で目線を合わせて優しくゆっくり話かけ、子どもが安心できるよう努めている。子どもの定員が12名と少数であり、職員数も多人数ではないため、職員間で子ども一人ひとりの発達から生じる個人差等を把握した事を共有する取組みは、毎日実施が来ている。				
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	保49	a	ⓑ	c
<コメント> 発達等の状況に応じて基本的な生活習慣が身につくような取組みが行われている。トイレトレーニングなどは一律で進めるのではなく、一人ひとりの子どもに合わせて適切な時期が考慮され、子どもが自ら進んで生活習慣の獲得に進んでいくことが出来るよう、強制しない保育が行われている。				
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	保50	ⓐ	b	c
<コメント> 隣接する幼稚園の園庭、体育館での活動や、夏期の水遊び等の戸外で遊ぶ時間、環境が確保されている。生活と遊びを通して人間関係が育まれて社会的ルールが身に付くように、お散歩、地域のボランティアが実施するイベントへの参加等で地域の人と触れ合う機会が得られるように工夫している。				
A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保51	a	b	c
<コメント> 非該当				
A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保52	a	ⓑ	c
<コメント> 保育者は笑顔で気持ちを通わせることができるよう、保育に取り組んでいる。探索を楽しみ様々なものに触れることができるように絵本、おもちゃ等を安全に配慮して設置している。				

A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保53	a ・ b ・ c
<コメント> 非該当		
A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保54	a ・ b ・ c
<コメント> 非該当		
A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保55	a ・ (b) ・ c
<コメント> 少人数であることから、在園時間の長い子どもも、同じ保育室でゆったり過ごせすことができる。保育士の引継ぎは丁寧に行われている。送迎時の保護者への声掛けや、アプリで毎日の子ども様子が文書と画像で伝えられており、家庭と情報交換がされている。		
A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	保56	a ・ b ・ c
<コメント> 非該当		
A-1-(3) 健康管理		
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	保57	a ・ (b) ・ c
<コメント> 年2回内科検診と年1回の歯科検診が実施されている。健康管理に関するマニュアルが常備されて活用されている。保護者にSIDSに関する情報提供を実施されたい。		
A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	保58	a ・ (b) ・ c
<コメント> 身体測定、健康診断、歯科診断は保護者へ年間行事等であらかじめ周知されている。年2回の内科検診と年1回の歯科検診結果は保育園専用ICTで保護者に情報提供されている。歯磨き指導等、子どもが家庭でも関心ももてるような保育の提供も工夫を期待する。		
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	保59	(a) ・ b ・ c
<コメント> 厚生労働省の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「アレルギー対応マニュアル」「緊急時対応マニュアル」が職員がいつでも確認できる場所に配置されており、各種ガイドライン・マニュアルを活用して施設長が研修を実施している。該当する子どもがいる場合は保育所、医師、保護者が密な連絡をとって対応している。		
A-1-(4) 食育、食の安全		
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	保60	a ・ (b) ・ c
<コメント> 子どもの発達にあわせた食器が利用されている。芋ほりの芋をデザートで提供したりし食の関心を深める取り組みも行われている。利用者アンケートから子どもの食べ具合について毎日報告されている事がわかる。しかし献立、サンプルのわかりやすさにはどちらとも言えないという回答もあるため、今後の工夫を期待する。		

A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	保61	(a) ・ b ・ c
<コメント> 調理員が毎日、子どもの食事の様子を見て表情、雰囲気把握し、好き嫌いや食べる量なども確認し、職員間、保護者とも共有している。調理スペースは限られた空間ではあるが、調理員が創意工夫をして安全な食事の提供に努めている。衛生管理マニュアルに基づき衛生管理がされている。		

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭と綿密な連携		
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	保62	a ・ (b) ・ c

<コメント>
 アプリにより毎日家庭と日常的な情報交換が行っている。個別面談を年2回実施するとともに、年1回は保育参加を行っている。保育参加では子どもとふれあうような内容が企画されている。保育の意図や保育内容について、保護者等に伝える取組みの工夫を期待する。

A-2-(2) 保護者の支援		
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	保63	a ・ (b) ・ c

<コメント>
 保護者からの相談は、担任が受けることが多いが、担任で解決できない場合は主任、施設長が役割分担をして相談支援を行う。施設のみで解決できない場合に備え、他機関、他職種との連携体制の整備も進められたい。

A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	保64	a ・ (b) ・ c
<コメント> けいわkiddy運営規程の虐待の防止のための措置の規定に基づいて、対応体制の整備、虐待対応マニュアル等の設置がされており、主任児童委員とも連携している。少人数の為、保護者、子どもへの支援も丁寧に行われており保護者、子どもの状況も把握されている。早期発見、早期対応、予防のために、継続的な職員研修の実施を期待する。		

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	保65	a ・ (b) ・ c

<コメント>
 運営規定により年1回自己評価が行われている。一人ひとりの保育士等の自己評価が、事業所全体の保育の質の向上へ繋がるよう、組織的に対応を工夫されることを期待される。